

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 平成27年6月30日(火) 午後6時 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

会 議 日 程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 会期について

日程第3 教育長報告

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(教育委員)

委 員 長	西 野 正 博
委員長職務代理者	金 丸 公 一
委 員	中 筋 斉 子
委 員	里 村 一 成
委員(教育長)	石 田 肇

(出席職員職氏名)

部 長	中 村 俊 二	副 部 長	畑 下 茂 生
参事(兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長)	藤 原 千 鶴	教育支援センター長	瀬 野 克 幸
教育総務課長	河 田 政 章	学校教育課長	上 道 貴 志
一貫教育課長	金 久 洋	学校教育課副課長	井 上 宜 久
一貫教育課総括指導主事	辻 弘 一		

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	上 田 ひ と み	教育総務課主任	河 田 章 博
-------------	-----------	---------	---------

開 会 (午後6時)

開会宣言 委員長が6月教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 会議録署名委員の指名について

委員長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、里村委員を指名する。

日程第2 会期について

委員長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

日程第3 教育長報告

- (1) 平成27年6月市議会定例会について
- (2) 文教福祉常任委員会について(平成27年6月25日)
- (3) 宇治市小中一貫教育推進協議会について
- (4) 「要望書」等について
- (5) 宇治市教育委員会後援事業について

以上5件を報告する。

[説 明]

(1) 平成27年6月市議会定例会について

[一般質問] 6月18日・19日・22日・23日 質問議員・・・16名
(うち教育委員会関係8名)

山崎 匡 議員

学校施設の改善について

- ・第2次学校施設整備計画の達成状況について
- ・今後の整備計画の推進について

岡本 里美 議員

地域の防災に対する取組について

- ・防災による地域のコミュニティについて
- 子供たちの見守り体制について
- ・安心・安全な通学路について

大河 直幸 議員

中学校給食について

- ・学校給食の役割について
- ・平日の中学生の昼食の現状について
- ・中学校給食に対する保護者、生徒、教員の要望について
- ・食を通じた子どもの貧困対策について
- ・「あるべき昼食のあり方」の検討の状況について

池田 輝彦 議員

小・中学校耐震化

- ・非構造部材の耐震化について

通学路について

- ・児童の登下校時の安全対策について

今川 美也 議員

健康長寿日本一のまちづくりについて

- ・高齢者の生きがいづくりについて

長野 恵津子 議員

心豊かな市民生活

- ・文化センターの今後の役割について

認知症対策

- ・認知症教育について

中村 麻伊子 議員

若者支援について

- ・高校中退者及び高校卒業後の相談窓口について
- ・学びなおしの機会について

木本 裕章 議員

教育行政に関して

- ・教育の根源的な目的について
- ・地域の教育への関わりについて
- ・社会の一員としての自覚と責任の育成について

(2) 文教福祉常任委員会について(平成27年6月25日)

「宇治市教育大綱」の策定について

平成27年度学校司書配置の概要について

これまでと同様に、学校図書館教育充実事業として、7ユニットに7名の学校司書を配置すると同時に、平成27年度から3年間、南宇治中学校ユニットを研究事業指定ユニットとして新たに学校司書を1名配置し、「ことばの力」の充実・向上を図る研究事業を行うものである。Dユニットを「ことばの力」育成研究事業指定ユニットとして、代表校を南宇治中学校とし、西大久保小学校、平盛小学校の3校を指定ユニットに設定している。

京都府「専門人材の配置事業」について、平成27年度は、槇島小学校については、京都府による専門人材の配置事業の実施により府費職員が配置されることから、市費の学校司書の配置は行わないこととしている。

「ことばの力」育成研究事業について、研究主題を、「子どもの自主的な読書活動や調べ学習を通して、思考を深め、自分の思いを効果的に表現する力を育てる。」こととしている。研究のねらいについては、1点目として、教科学習、総合的な学習の時間において、図書室の資料を活用した協働学習を進めていくことにより、児童間生徒間のコミュニケーション能力向上につながる。2点目として、学校司書、司書教諭が中心となって、図書室の環境整備を進め、児童生徒だけでなく、教員の利用を推進することで、学習・情報センターとしてより機能すること。3点目として、読書指導の充実を図ることで、児童生徒の読書に親しむ心が育まれれば、読解力の向上につながり、かつ自分の思いを表現する力がつくこと。以上の3点を挙げているところである。

研究計画について、「宇治学習」「職場体験」「高校訪問」における図書を利用した事前学習、「子ども読書の日」「読書週間」「ブックウォーク」の取り組み、小中合同研修会の実施、を挙げているところである。

また、「ことばの力」育成研究事業の事業内容については、中間報告書を平成27年度、平成28年度に、最終報告書は平成29年度に市教委へ提出することとしている。

なお、研究予算について、研究指定校に1校あたり、図書購入費30万円、書架購入費6万5千円、事務消耗品費2万円を配分することとしている。

[質 疑]

[委 員] 専門人材の配置事業についてどこの学校に配置されているのか。

[事務局] 京都府の専門人材の配置事業については宇治市の槇島小学校と府下でもう一校あると府教委から聞いている。

[委 員] 池田議員に対する答弁の中で、交通規制を所管している宇治警察署からは、駐車違反車両について通報があれば積極的に取り締まると聞いているとのことだが、通報しないと駐車違反車両については取り締まりをしてもらえないのか。

[事務局] 今回の一般質問で池田議員から具体的な場所は質問を受けていないが、警察としても重点区域については手厚く取り締まりを行っているということである。常時取り締まるというのは現実的に難しいので、通報があ

れば対応するということである。

[委員] 例えば学校安全対策連絡協議会などで常時毎朝のように違法駐車をしている場所などを把握して、それを警察に伝えて、警察に予防的に取り締まっていただくような方策は打てないのか。

[事務局] 常時の駐車違反となれば、当然警察も厳しく取り締まってくれるとのことである。ただし、質問の中では、ある商店の周囲に違反車両がとまっているのが多々見受けられるとのことだった。いつも特定の人物が違法駐車しているというわけではなく、その商店を利用される際に客が違法駐車しているという話だった。

(3) 宇治市小中一貫教育推進協議会について

本協議会は小中一貫教育を総合的に推進する目的で平成20年4月に設置された。活動としては、小中一貫教育の取り組み全般の進行管理を目的として年に2回の協議会並びに1回の視察を予定している。

(4) 「要望書」等について

日本共産党宇治市議員団より自衛隊宇治駐屯地におけるヘリコプターによる訓練についての要望書の提出があった。宇治駐屯地で行われるヘリコプターの離発着訓練と大久保駐屯地で行われる空砲射撃訓練の中止を申し入れるよう求めるものである。

(5) 宇治市教育委員会後援事業について

小倉子ども会連絡協議会が5月6日に開催する第40回子ども会大運動会をはじめとして全部で19件の後援承認を行った。また、7月25日から30日までを期間とする平成27年度第68回京都府中学校総合体育大会を共催事業としている。

[質 疑]

[委員] 小中一貫教育推進協議会の委員は変更があったのか。

[事務局] 保護者関係で2名、また地域関係団体も1名変更となっている。また、学校関係は3名とも変更となっている。

閉会宣言 委員長が6月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時30分)